

登録コード	HM121300	開講年度	2026					
授業題目	麻酔・神経科学特論				担当教員	石田 高志 他		
英文授業名	Neuroanesthesia				副担当	田中 聡・石田 公美子		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	大学院生
講義室				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初							
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				⇔	麻酔薬の中樞神経への作用について理解し、周術期脳神経モニタリングについて説明できる。		
(2)詳細/Detailed information	中枢・末梢神経系の生理および病態と麻酔薬・鎮痛薬の作用機序を統合的に理解し、病態に基づいた評価と対応を考察できる。							
(3)授業の概要/Overview of course	① 周術期の脳脊髄保護について説明することができる。 ② 周術期の脳脊髄機能モニタリングを実施し、解釈できる。 ③ 区禁麻酔の長所・短所について説明できる。							
(4)授業計画/Course plan	1、 周術期脳脊髄障害 (第1回～第5回) 2、 脳脊髄機能モニタリングと脳脊髄保護 (第6回～第10回) 3、 区域麻酔の目的と合併症 (第11回～第15回)							
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	授業毎の小テスト、レポートによる。 「小テストの評価基準」 授業で示した例題と同程度の問題が解ければ「合格水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」。 「レポートの評価基準」 (1)問題の設定が適切であり、(2)その問題の背景を説明できており、(3)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(4)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(5)その上で自分の見解を適切に提示できている場合には、「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	事前学習：授業の終わりに次回までの予習課題を説明する。予習した内容はミニレポートとして講義の最初の10分間にまとめ、提出する。 事後学習：授業の始めに、前回の授業内容に関連する問題を提示するので、復習をして授業に臨む。 この授業の履修にあたっては、周術期医療の経験があることが望ましい。上記の日時に参加できない場合には、協議の上で具体的な時間割を決定する。							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問は随時受け付ける。							
(8)授業の形式/Course format								